

ミズナラハバチ

春にミズナラの若葉を食べるイモムシ（幼虫）。体長最大20mm。体は白粉で覆われる。

まれながら多発し、木を丸坊主にすることがある。



1. 中齢幼虫，体長14mm。1993/6/14.



2. 終齢幼虫，体長20mm。1993/6/16。1を飼育.

新得町，ミズナラ.



3. 雌成虫，体長10mm。1を飼育.

【学名】 *Apethymus quercivorus*

【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , ハバチ亜目 (Symphyta) , ハバチ科 (Tenthredinidae)

【分布】 北海道.

【特徴】

幼虫は終齢で体長20mm。体は白い粉で覆われる。中齢は頭部の地色が黒色，終齢は淡褐色。ミズナラにつく他のハバチ類から簡単に区別できる。

【生態】

宿主：ミズナラ.

北海道の低地では年1化。幼虫は春に出現，単独性もしくは5～6頭の集団で新葉を食べる。6月上～中旬に老熟，土中で丸い部屋を作り夏を過ごす。成虫は8月下旬～9月中旬に出現するという。

【文献】

1980. Togashi, I. A new species of the genus *Apethymus* (Hymenoptera, Tenthredinidae) feeding on *Quercus mongolica* Fisch. var. *grosseserrata* Rehd. et Wils. Kontyu, Tokyo, 48 : 324-326. (原記載, 形態)
1987. 北海道森林昆虫談話会. 昭和61年度・北海道に発生した森林害虫. 北方林業, 39 : 179-184. (最初の被害記録)
1988. Togashi, I., and N. Yoshida. Larvae of the genus *Apethymus* Benson in Japan (Hymenoptera: Tenthredinidae). Akitu N. ser. 93 : 1-5. (幼虫の形態, 生態)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ミズナラハバチ habachi/mizunara/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1996/2/1-2001/2/15.

1yochu1.JPG, 1yochu2.JPG, 1seichu.JPG

「写真1～3」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1993.